

## 令和3年度公開臨海・臨湖・センター実習 実施計画書

実習タイトル	公開臨湖実習 4「巨大湖の生物多様性に迫る－実践的なフィールドワークと最新の分子生物学的手法から」		
<p>&lt;実習内容&gt;</p> <p>日本第 2 位の面積を誇る巨大湖「霞ヶ浦」は、首都圏に位置し幾多の大規模開発を経験しながらも、いまだに高い生物多様性を維持している。本実習では、霞ヶ浦に生息する生物の中でも大型無脊椎動物および魚類に注目し、それらの調査法について実践的なフィールドワークと最新の分子生物学的手法を通じて理解する。</p> <p>&lt;具体的な実習項目&gt;</p> <p>(1) 大型無脊椎動物フィールド調査：調査船に乗って霞ヶ浦（北浦）での野外調査を行い、深底帯・沿岸帯など様々な場所でユスリカ幼虫を主とした大型無脊椎動物を採集する。同時に溶存酸素などの環境要因も測定し、出現したユスリカ種の多様性と底質・溶存酸素などの環境要因との関係について解析する。</p> <p>(2) 魚類フィールド調査：投網や定置網、釣り等を用いた採集調査を行い、霞ヶ浦に生息する魚類の多様性について理解する。</p> <p>(3) 環境 DNA を用いた魚類調査：魚類群集構造を把握する手法の一つで、世界的にも注目を集めている環境 DNA 分析手法の基礎を学ぶ。</p>			
実習内容キーワード	霞ヶ浦、環境 DNA、ユスリカ幼虫、魚類、船上調査		
担当教員氏名・所属・役職名	中里亮治（准教授）・加納光樹（准教授）・碓井星二（助教） 茨城大学 地球・地域環境共創機構 流域圏環境部門		
協力教員氏名・所属・役職名			
対象学生・学年	学部生 (院生も可)	開講期間	2021 年 8 月 30 日（月）昼～ 9 月 3 日（金）昼
開講大学・施設名	茨城大学・水圏環境フィールドステーション		
施設の住所	〒311-2402 茨城県潮来市大生 1375		
電話	0299-66-6886	F a x	0299-67-5175
e-mail	suiken@ml.ibaraki.ac.jp	Web Site	<a href="http://www.cwes.ibaraki.ac.jp/">http://www.cwes.ibaraki.ac.jp/</a>
交通案内	高速バス停留所「水郷潮来（東京駅から 1 時間 20 分、片道 1830 円）」から路線バス（約 40 分、200 円）もしくは JR 延方駅から路線バス（約 10 分、200 円）で「大生原公民館前」下車、そこから当フィールドステーションまで徒歩で約 5 分。		
費用	宿泊費（宿泊棟使用料、シーツ代）と食費で 9,000 円 前泊・後泊が必要な場合は別途宿泊費 500 円/泊		
授業科目名	陸水生物多様性生態学実習		
単位数	1 単位 (院生の場合、所属大学院での単位認定不可)	定員数	15 名
授業料の徴収について	国立・公立・私立大学を問わず不徴収。		
受講生選抜基準と申し込み締め切り	先着順。申し込み締め切りは 6 月 30 日（水）。定員に満たない場合は追加募集を行う。申し込み状況の問い合わせは E-mail で。 <u>新型コロナウイルスの影響により、オンラインでの開催や中止となる可能性があります。開催の可否、実習内容、日程等については、当施設ホームページにて最新情報を必ず確認してください。</u>		
選抜結果連絡法	所属大学学務へ郵送、および申し込み学生へ E-mail で通知。		